

## ○令和3年度外国人留学生在籍状況調査結果

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）は、3月30日、「令和3年度外国人留学生在籍状況調査」の結果を公表。それによると、令和3年5月1日現在のわが国の留学生数は24万2444人で、前年度より3万7153人、13.3%減少したことが分かった。

2019年には「留学生30万人計画」を達成したが、新型コロナウイルスの影響で状況が一変、増加傾向にあった留学生は2年連続で減少した。本年度の留学生数には、予定していた時期の入国ができず、やむなく本国でオンライン授業等を受講している学生2万1945人（9.1%）も含まれている。

日本への新規入国は、2020年度に一時再開されたが、その後変異株流行等により再び新規入国停止措置が取られたことから、留学生の多くが入国できない状況となっている。

留学生を在学段階別にみると、①専門学校7万268人（前年度比9330人、11.7%減）、②大学（学部）7万3715人（同6111人、7.7%減）、③大学院5万2759人（同297人、0.6%減）、④日本語教育機関4万567人（同2万247人33.3%減）、⑤準備教育課程2351人（同701人、23.0%減）、⑥短期大学2331人（同497人、17.6%減）、⑦高等専門学校453人（同30人、7.1%増）となっている。

留学生の出身国（地域）では、①中国11万4255人（前年度比7590人、6.2%減）②ベトナム4万9469人（同1万2764人、20.5%減）、③ネパール1万8825人（同5177人、21.6%減）。

なお、出入国在留管理庁が本年3月に公表した「令和3年末現在における在留外国人数について」では、留学生は20万7830人（同令和2年末は28万901人）。